

映画 Vision 製作始動

吉野町を舞台に撮影 多くの町民が協力しました

吉野の山林を守る山守の男と、世界中を旅して紀行文エッセイを執筆するフランス人女性が主人公の映画「Vision」の撮影が吉野町内で行われ、町内のボランティアの方などが協力しました。

河瀬直美監督

奈良在住の映画監督河瀬直美氏は史上最年少でフランス・カンヌ国際映画祭のカメラ・ドール（新人監督賞）を獲得するなど世界的に有名な監督で、地元奈良を拠点に活躍されています。

撮影について

吉野町での撮影は、9月3日から中旬までと、11月から12月初旬までの2回に分けて撮影が行われる予定です。9月3日の初日には町内の神社にて祈願祭が行われ、映画スタッフや映画製作に協力する地元の代表者、北岡町長を始め関係する吉野町職員が参加しました。祈願祭終了後は、地元の方々の協力により、龍門総合会館で餅つきなどが行われ、参加者に振る舞われました。

登場人物の住む家は、龍門地区の空き家を改修して撮影。また、スタッフの方の宿泊に町内の空き家やお寺など、数力所が利用され、地元の方々

左から永瀬正敏さん、河瀬監督、ジュリエット・ビノシュさん 写真提供：組画(表紙及び2ページ掲載分)



祈願祭の後、餅つきをする河瀬監督(右)と町民の方々

も協力し、撮影が行われています。

国内外へPR

今回撮影される作品は、来年フランスで開催を予定されている「ジャポニズム2018」の公式オープニング式典での上映が予定されており、「吉野」という名前とともに、吉野林業や吉野町の魅力を、広く国内外へPRする大きな機会になることが期待されます。

※ジャポニズム2018…日仏首脳間の合意に基づき、2018年7月

から翌年2月まで、パリを中心にフランス国内で実施を予定されている。日本文化や芸術をフランスの人々に伝えると共に、パリを通じて世界の人々に紹介することで世界の関心を日本に深め、2020年の東京オリンピックにつなげるという国を挙げたプロジェクト。このオープニングを両国首脳の出席のもとで行うにあたり、開幕記念事業の一つとして今回の河瀬監督の新作映画が特別発表上映される。

あらすじ

世界中を旅しながら紀行文エッセイを執筆しているフランス人女性・ジャンヌ(ジュリエット・ビノシュ)。とあるリサーチのため、アシスタントと共に奈良の吉野を訪れ、杉の木立が連立する山間で生活をしている山守の男・智(永瀬正敏)と出会う。二人は言葉や文化の壁を越え、次第に心を通わせていく。ジャンヌはなぜ自然豊かな神秘の地を訪れたのか。山と共に生きる智が見た未来とは…。

祝 長寿

百歳の方々を

町長が 敬老訪問

9月15日、百歳を迎えられた方々のお宅を町長が訪問し、お祝いを申し上げるとともに「これからも健康にご留意しお過ごしください」と記念品をお贈りしました。米寿を迎えられた方々には、長寿福祉課職員から一人ひとりにお祝いを申し上げ、お祝品をお届けさせていただきました。

幾度かの戦争と大きな社会変動に耐え、今人生を意義あるものとしてお過ごしの方に接し、いつまでもお元気でと町民の皆様と共に祝い申し上げます。



谷尾 オケイ(榎 井)



大前 直江(榎 井)



濱田 か寿(柳)



東 イサ(飯 貝)

●H29年度対象人数 88歳 88名 (男37名・女51名)

(順不同・敬称略)



左から森本教育長、上垣さん、北岡町長

9/12 町長を表敬訪問

上垣果穂さんダンス世界大会出場

吉野中学校2年生の上垣果穂さんが、4月に京都市で開催されたUDOストリートダンス世界大会日本予選2017(12歳~13歳部門)で優勝し、8月にイギリス・グラスゴーで開催された世界大会ソロ部門(14歳以下)に出場し、4位入賞を果たしました。この日は大会の出場報告に町長室を訪れ、36ヶ国から選手が集まった世界大会の様子などを話しました。多くの人々を、歌とダンスで魅了したマイケル・ジャクソンに憧れ、4歳からストリートダンスを始めた上垣さん。来年こそは世界大会で優勝したいと話し、町長が激励しました。